



企業紹介

宇部興産株式会社

1. 事業概要

名称 宇部興産株式会社
 創業 明治30年6月
 設立 昭和17年3月10日
 資本金 416億円
 代表者 代表取締役社長 清水 保夫
 従業員 7,309名（平成元年3月末）
 売上高 4,029億円
 所在地

東京本社 東京都港区赤坂1-12-32
 アーク森ビル
 宇部本社 山口県宇部市西本町1-12-32
 宇部研究所 山口県宇部市大字小串19-78-5
 千葉研究所 千葉県市原市五井南海岸8-1
 枚方研究所 大阪府枚方市中宮北町3-10
 セメント技術センター
 山口県宇部市大字小串字沖の山
 支店 大阪, 名古屋, 広島, 福岡, 高松, 仙台
 営業所 新潟
 工場 宇部統合事業所
 （山口県宇部市）
 千葉石油化学工場
 （千葉県市原市五井）
 堺工場
 （大阪府堺市築港新町）

2. 会社の沿革

宇部興産の歴史は明治30年に創立された沖ノ山炭鉱を起点とする。「石炭の埋蔵量には限りがあり、これを燃料として燃やしつくすより無限の富を生む工業の資源とすべきだ」というのが創業者の生涯を貫く考えであった。

炭鉱機械の修理工場として大正3年に発足した宇部鉄工所。地元山口県に豊富な石灰石を利用して大正12年に設立された宇部セメント製造。さらに宇部の低品位炭を原料に硫安の製造を昭和8年にはじめた宇部窒素工業。明治初年には一寒村に過ぎなかった宇部は次第に工業都市の基盤を固めていった。

戦時中の昭和17年、石炭、機械、セメント、化学の4社が統合して宇部興産の設立を見た。

第二次大戦後、石炭の斜陽化に対処してセメント、硫安、産業機械の事業を拡充する一方、尿素やナイロンの原料カプロラクタムの生産を開始し、昭和30年代には化学工業の原料を石炭から石油へ転換。これを跳躍台に石油化学へ進出した。

さきの石油危機には豪州一般炭の輸入に踏み切り、セメント燃料の石炭専焼化、大規模な自家火力発電所の新設、世界最初のテキサコ法石炭ガス化によるアンモニア製造の実施など、石炭を軸とする多様な事業展開を図った。

一方、石油危機以後急速に進んだ産業構造の転換に対応するため、各事業部門がこれまでに培ってきた技術を生かして、エレクトロニクス、機能性材料、ニューセラミックス、医薬農薬などの多面的な分野で研究開発を意欲的に進めており、他企業との合弁も含めて数々の新規事業を起こしてきている。

3. 事業内容

当社の事業は多岐にわたっているが、中核となるのは化学部門とセメント関連部門である。ほかに主なものとしては、産業機械、プラントエンジニアリング、住宅、石炭などがあり、これら多業種に跨がる事業を総合的に展開している。

部門別に見ると、化学部門は、石油化学、化学、機能性樹脂の3事業に分けられる。石油化学事業については、ポリエチレン、ポリプロピレン、合成ゴムのほか、包装緩衝材や防水ゴムシートなどの川下分野へも進出している。化学事業については、ナイロンの原料カプロラクタムを主力製品にするほか、肥料、工業用薬品、精密化学品を製造する。機能性樹脂事業では、ナイロン樹脂を主力製品とするが、ポリアミドフィルム、ガス分離膜を供給している。これらの製品は、エレクトロニクス、自動車産業など幅広い需要分野をもち、今後の成長が期待できる。

セメント関連部門は、セメントと住宅・建材などの加工製品に分けられる。当社はセメント事業が市況の影響を受けやすいとの認識のもと、この部門でのセメント以外の製品の売上の比率を50%以上にもっていくため、住宅・建材事業の強化を図っている。各種建材、金属マグネシウム、コンクリート住宅「ウベハウス」などの事業がそれである。

機械部門では、機械製作所に大型設備を備え、ダイカストマシン、射出成形機などの油圧機械、破碎機、粉砕機の分野で特に大型機械に特徴をもつ機種が多い。橋梁、クレーンの製作及び、プラント類の設計から建設も行う。

石炭部門では、国内最大のコールセンターを利用して、アンモニアの原料、セメント焼成及び自家発電所用燃料としての海外炭の受け払いのほか、他企業へ海外炭を販売している。石炭と水を混合し、燃焼性、経済性、環境面で優れたCWS（石炭・水スラリー）を開発した。

このほか、研究開発本部の開発した新規商品の市場開発を行うニュープロダクツ事業部では、エレクトロニクス製品、メディア関連製品、ニ

ューセラミックスなどの販売を行っている。また、社有土地の有効活用を図るため、不動産事業として、三菱商事ほかと共同で東京・東品川に複合多機能ビルの建設を進めている。

4. 商品の紹介

新素材関連

ポリアミドフィルム「ユープレックス」、高分子膜（ポリオレフィン中空糸多孔膜、ポリアミド中空糸膜）、複合材料（ラミネート鋼板、制振鋼板、FRP、FRR、FRC、FRM）、ファインセラミックス（高純度窒化ケイ素、サイアロン粉末、窒化ケイ素ウイスキー、チラノ繊維、チラノコート）

バイオ関連

SOD（制ガン剤、心臓病治療薬）、抗SODモノクローナル抗体、抗マイコトキシンモノクローナル抗体、補酵素PQQ、光学分割剤「キラルホストエース」

エレクトロニクス関連

高純度ガス（三塩化ホウ素、四塩化ケイ素、窒素、アルゴン、酸素、水素ほか）、ドライエッチング廃ガス吸着装置（UBERID）、電子セラミックス（マイクロ波用誘電体素子、圧電体素子）、高分子系材料（耐熱絶縁用材料、感光性耐熱材料、電磁波シールド材）、フロッピーディスク

自動車関連

ナイロン、ポリプロピレン（高性能コンパウンド）、ポリエチレン、ポリブタジエンゴム、金属マグネシウム、加工機械（射出成形機、ダイカストマシン、堅型スクイズキャストイングマシン）

住宅関連

高級コンクリート住宅「ウベハウス」、建設資材（基礎、構造・壁面・機能材）、リフォーム材（モルタル、セメント強化材）、浴場循環浄化システム、家庭用浄水器、防水シー

ト

医療関連

各種医薬中間体，血しょう分離器，人工血管
精密ろ化用カートリッジフィルター，血液保
存剤

その他

電力ケーブル用高純度ポリエチレン，ポリイ
ミド成形体，カテコール誘導体，超微粉碎機

である「CFミル」，高含水浅渣物燃焼ボイ
ラーである「UMF」ボイラー

5. おわりに

21世紀に向って，当社は複合経営の妙を生か
して益々事業の多様化を図ると共に，研究開発
の重点を，電子材料，セラミックス，医農薬，及
び機能性材料に置き力強く歩んでおります。

